

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (東北)	良くなる	乗用車販売店（経営者）	・軽自動車の販売再開や新型車イベントが予定されており、新車販売においても増加を見込んでいる。
		タクシー運転手	・駅前に大型商業施設がオープンするため、景気が良くなることを期待している。また、人が集まれば地域全体が潤っていくのではないかとみている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・ボーナスやお中元のシーズンを迎えて、全体的に希望が持てる時期となる。ただし、そのような状態でもなかには苦戦する店もあり、今後の大きな課題となっている。
		商店街（代表者）	・北海道新幹線が開業し、今後は観光客が増加する季節となる。特に飲食業、宿泊業を中心に、少しずつではあるが伸びていくと期待している。
		スーパー（店長）	・売上の前年比が上昇傾向にあるため、今後も少しずつ良くなっていくとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・平年よりも気温が高い予報のため、冷たいものを中心に消費が活発化することを期待している。
		コンビニ（店長）	・競合店による影響はあるが、前年と比べても単価が上がっている。夏場の最盛期ということもあり、売上、利益共に期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・7月から軽自動車が販売できるため、多少は良くなると思われている。
		高級レストラン（支配人）	・周辺地域で夏祭りなどのイベントが始まるため、インバウンドなどの観光客を見込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・来客数は前年並みに戻ってきているが、値上げをした分、売上の前年比がやや良くなるのではないかと期待している。
		一般レストラン（経営者）	・選挙も終わりボーナスの時期になり、景気はやや良くなると期待している。また、梅雨が明けて気候も良くなるため、来客数の前年比も良くなるとみている。
		観光型ホテル（経営者）	・ここ3か月の前年比はマイナスであったが、夏休みの予約状況はやや良くなっている。
		観光名所（職員）	・夏休みは初開催となるイベントも用意しているため、天候に恵まれることを期待している。
		競艇場（職員）	・今の状況からは現状維持が精一杯であり、売上や来客数の増加は見込めない。ただし、7月に大きなイベントがあるため、多少は売上の増加を期待している。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・原材料や消耗品価格の低下につながるため、円高の動きは好材料である。
住宅販売会社（経営者）	・10月以降まで住宅の受注を確保できている。		
変わらない	商店街（代表者）	・良くなる要素が見当たらない。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・7月の参議院選挙が終了しても、景気は急には良くなるまい。しばらくは現在の悪い状態が続くとみている。	
	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今年は客の動向が読みづらく、先行きの不透明な状態が続いている。	
	百貨店（総務担当）	・周囲の人達の給与が変わらず、賞与も増えていない。消費意欲が低下しており、買いたいという気持ちにならないため、景気も上向かない。	
	百貨店（企画担当）	・来客数の前年比が減少している。この状況が改善される兆しが無いため、現状のペースで推移するとみている。	
	百貨店（営業担当）	・売上にかかわるような大きな要因がなく、基調に変化はない。ただし、駅前に大型商業施設がオープンするため、7月は人の流れが変わるとみている。そのため、街全体の景気が上向き可能性はある。	
	百貨店（営業担当）	・個人所得が変わらないため、今後も節約志向が続くとみている。	
	百貨店（買付担当）	・クリアランスに入り、セール品中心の商品展開をしているが、客は吟味して購入している。全体的にこのような傾向が強くなっていくのではないかとみている。	
	百貨店（売場担当）	・欲しいものを購入する手段として、ネットや量販店など客の選択肢が幅広く拡大している。百貨店で買わなければならないものはないため、百貨店離れ、顧客流出も少なくない。今後は客の誘導の仕方が課題となっている。	
	スーパー（経営者）	・選挙の時期は消費の動きが鈍る傾向にある。7月もこれまで同様の消費動向になるとみているが、今年は日曜日が1日多いため前年よりは良くなるのではないかとみている。また、英国のEU離脱問題による、円高株安、輸出量減少などのマイナスの影響を懸念しているが、その影響が地方の消費に及ぶには時間がかかるため、現在の消費推移に変化はないとみている。	

スーパー（営業担当）	・消費税増税の再延期が決定したが、現状ではそのことが直接景気に影響しているとは考えにくい。また、この先の景気が良くなるような施策も見当たらない。
コンビニ（経営者）	・客単価や買上点数は前年並みで推移しているものの、客単価の減少傾向に変化はない。この先も売上の回復は見込めない状況が続くとみている。
コンビニ（経営者）	・人口が減少しているなか、3か月先も客単価が上がらないまま横ばいで推移していくのではないかと。天候次第ではあるものの、この先もなかなか厳しい状態が続くとみている。
コンビニ（経営者）	・気温の上昇に左右されるが、今のところは例年並みに推移するとみている。
コンビニ（エリア担当）	・英国のEU離脱問題など大きな不安要因はあるが、すぐには日々の生活に影響は出ないとみている。
コンビニ（エリア担当）	・来客数が増加しない限り、景気の先行きが良くなる見込みはない。
コンビニ（店長）	・季節的に期待したい気持ちはあるが、良い材料が見当たらない。前年の数字を維持できれば御の字の状況である。
衣料品専門店（経営者）	・猛暑の予報が出ているため、毎年8月から展開している秋物の動きは非常に厳しくなると見込んでいる。また、単価の下落が心配されており、売上も厳しくなるとみている。
衣料品専門店（経営者）	・選挙の時期はいつものことながら商品の動きが悪くなる。今回は月末と月初めが重なり最悪の結果になりそうである。
衣料品専門店（経営者）	・先行きの景気が良くなるような要因は見当たらない。
衣料品専門店（店長）	・震災特需で膨れ上がったマーケットは縮小傾向にあるが、ここ数か月様子からは、底を打ちつつあるようにみえる。まだまだ予断を許さない状況ではあるものの、先行きに大きな変化はないとみている。
衣料品専門店（店長）	・セール前の顧客動向から、セールの始まる7月以降は来客数が伸びることが予想されるが、客単価の動きは不透明である。
衣料品専門店（店長）	・景況感が良くない影響からか、客の買物に対する姿勢が月を追うごとに慎重になっている。
衣料品専門店（総務担当）	・客の様子をみても景気が上向くとは考えにくいと、現在の状況が続くとみている。
家電量販店（店長）	・世界情勢が不安定であり、景気対策も不発である。
家電量販店（店長）	・猛暑によるエアコン需要に期待をしているが、天候次第である。
家電量販店（従業員）	・来客数が少ない状況は今後も変わらないとみている。
乗用車販売店（経営者）	・大手自動車メーカーの燃費不正問題以降、当社の軽自動車の販売量は多少上向き状態である。
乗用車販売店（従業員）	・客の様子からも、急に景気が良くなるとは考えにくい。
乗用車販売店（店長）	・7～8月は、あまり販売量に変化のない時期である。
住関連専門店（経営者）	・3か月先はお盆が終わるので仏具類の需要が落ち込むのではないかと。景気は通常の状態となるが、売上はお盆からの反動減が多少あるとみている。
住関連専門店（経営者）	・急激な円高により外国人観光客が減少するとみえており、売上の期待ができない。
その他専門店〔靴〕（従業員）	・長期予報では雨が多く気温も上がらない模様であり、ヒット商品も見当たらない。客の購買意欲を刺激するようなきっかけが欲しい。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・需要の低下、仕入価格高騰に伴う収益の落ち込みなどの状況に変化はなく、今後も景気の回復が望めない状態が続くとみている。
高級レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題もあり、景気は不安定になるとみている。そのため7月以降の景気がどうなるのか判断できない。
高級レストラン（支配人）	・来客数、客単価、予約状況の動きから、景気は上向きになると見込んでいるが、英国のEU離脱問題の影響によっては、景気が悪くなるのではないかと危惧している。
一般レストラン（経営者）	・株価やGDPなど、経済状況が好転するような材料が見当たらないため、このままの状態が続くのではないかと。現に予約もなかなか入っていない状況である。
一般レストラン（経営者）	・これからのシーズン、観光客や地元住民は圧倒的に海のエリアに向かってしまうため、内陸である当地域の景気は現在よりも落ち込むとみている。
観光型旅館（経営者）	・消費税増税の再延期が決定したが、経済の不安定なニュースが多く、消費者の財布のひもは緩んでいない。この先の景気が上向くとは考えにくい。

	旅行代理店（店長）	・参議院選挙、英国のEU離脱問題などマイナス的な話題が多く、出控える傾向にある。また、大きく景況感が良くなるような要因も見当たらない。
	旅行代理店（従業員）	・海外の情勢不安が依然として継続しており、この先も旅行を控える動きが続くとみている。
	タクシー運転手	・参議院選挙の影響で夜の乗客がずいぶん減っている。
	タクシー運転手	・アベノミクスとは、からっぽの箱からものを出してみせるマジックのようなものである。庶民は不安が多く、安心できるようなものは何も無い。このようなことで将来の景気が良くなるとは考えにくい。
	通信会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題は、今後を大きく左右するとみている。米国の大手金融機関の破たん並みの影響があるのではないかと。また、消費や雇用の拡大への見通しがまだ立っていないため、今後2～3か月は景気が上向きにはならないのではないかと。
	通信会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題や参議院選挙が景気に与える影響は無いとみている。
	通信会社（営業担当）	・景気が好転するような材料に乏しく、当分はこのままで推移するとみている。
	通信会社（営業担当）	・通信事業各社は低価格競争に突入しているが、商品の信用性や客に寄り添ったサービスを継続することで、他社への移行や解約防止は防げるとみている。ただし、消費者は新しいものへの支出は控える傾向にあり、新規顧客の開拓は微増のまま推移すると見込んでおり、大きな増加は期待できない。
	観光名所（職員）	・予約状況は変わらないがフリー客が順調であるため、現状のまま横ばいで推移するとみている。
	遊園地（経営者）	・夏休みを間近に控えているが、今年は猛暑の予報が出ており、更にオリンピックも開催される。このことから、自宅での観戦などが増加して、外出する機会は減少傾向となるのではないかとみている。
	美容室（経営者）	・状況はあまり変わらないとみている。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・後半の落ち込みがかなり激しかった前年と同様の軌跡をなぞるように今年も推移している。このことから、先行きはかなり悪くなるのではないかと危惧している。
	商店街（代表者）	・人々は不安慣れをしているのか、少々なことでは驚かなくなっている。政府の対応に妙な信頼感があるのか、インフレにでもならない限り人々は右往左往しないのではないかと。
	商店街（代表者）	・参議院選挙による飲食店などの売上減少、英国のEU離脱問題による円高、株安、それに伴う消費意欲の減退により、景気はやや悪くなるのではないかと。
	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・英国のEU離脱問題、参議院選後の景気予測、地方創生の問題などが絡み合い、地方の景気は非常に厳しさを増している。今後政府による何らかのことでこ入れが必要である。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数が悪化したままの状態が3か月間も続くなど、東日本大震災後にはなかったことである。大手金融機関の破たんの時も、それ以前から原因不明のまま業績が振るわない月が続いていた。何か経済の基礎的な部分に変調をきたしているのではないかと。
	百貨店（売場主任）	・必要なものや気に入ったものを購入する場合でも、客は価格、機能をしっかり吟味しており、流行を追うことをしなくなってきた。購買行動がさらに慎重さを増してきていると実感している。
	百貨店（経営者）	・お中元商品の立ち上がりが鈍く、サマーセールスタートも分散しているため、大きな期待はできない。また、国政選挙にプラスして、英国のEU離脱問題のニュース発表後は円高株安などへの不安もあり、今後の消費減退に大きく影響するものと危惧している。
	スーパー（経営者）	・夏のボーナスが少し減る見込みであり、円高傾向のため雇用も減速しそうである。
	スーパー（総務担当）	・英国のEU離脱問題の影響による、円高、株安がしばらく続くともみている。また、猛暑が予想されているがまだ梅雨明けまでには期間があることから、天候頼みによる景気の好転は期待できない。
	スーパー（営業担当）	・円高、株安など、英国のEU離脱問題の影響がどこまで拡大するのか予測がつかないが、これらのことが景気に対して大きなマイナス要因になるとみている。
		コンビニ（エリア担当）

家電量販店（店長）	・消費者は将来に対して不安を抱いており、財布のひもを緩める様子はみられない。そのため、必要なものや買換え需要に関しては堅調であるが、必需品以外の商品の単価が伸び悩んでいる。猛暑の予報があるためエアコンの売上は増加を見込んでいるが、オリンピック需要の高まりがみられないため、今後は不安である。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・参議院選挙に突入したということもあるが、英国のEU離脱問題の影響を不安に思う人が多く、景況がどう動くのか非常に心配している。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・日本だけではなく世界の経済状況がめまぐるしく変化している。この先は繁忙期となるが、参議院選挙も実施されており、更にニュースでネガティブな情報ばかり流される状況では、消費者の購買意欲が高まらない。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・猛暑となっても制服にはあまり影響はない。むしろ、Tシャツやポロシャツのような簡易型の制服になるのではないかと危惧している。また、在庫の状況によっては、欲しいときに商品が無いということもあるため、見通しとしてはあまり良くない状況である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・英国のEU離脱問題など世界経済の混乱の影響で、為替や原油価格の相場の変動が見込まれ、販売価格や収益が不安定な状態になるのではないかと危惧している。また、夏の需要期も、オリンピック開催の影響により外出が減るのではないかとみている。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題により円高がどれほど加速するのか。また、その影響で製造業の客がどのくらい苦しむのかによって、当店もある程度の影響が表れるとみている。そのため、先行きはやや悪くなるのではないかとみている。
観光型ホテル（スタッフ）	・円高の影響を懸念している。
観光型旅館（スタッフ）	・前年の7月はふるさと旅行券などの助成があり、その効果は数千万円の売上に表れている。また、今後は九州復興応援が始まるため、ツアー構成や販売の偏りが懸念されている。一時的なものではあるだろうが、状況はあまり良くないとみている。
都市型ホテル（スタッフ）	・県外からの客を呼び込めるような大きなイベントがなく、宿泊客はどうしても六魂祭などに流れてしまう。また、7月からは別の地域でデスティネーションキャンペーンが始まるため、更に客の流れはそちらへ向いてしまう。この先2か月は、様々な旗振りをしながら客の呼び込みに努めなくてはならない。
都市型ホテル（スタッフ）	・法人の宴会予約、利用件数共に前年を下回っており、来月以降の予約件数も前年を下回っている。
都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況に変化がなく、フリー客も少しずつ減少傾向にある。このような状況が好転するとは考えにくい。
旅行代理店（経営者）	・9月の連休の並びが前年より良くないため、9月の売上が伸び悩むとみている。また、英国のEU離脱問題によって経済の見通しが不透明となり、株価が安くなっていることもマイナスに働くのではないかとみている。
テーマパーク（職員）	・予約数がかかなり下回っている。さらに、売上においても単価が下がっている。
遊園地（経営者）	・前年の9月は5連休であったため、今年は前年を下回ることには織り込み済みである。しかし、英国のEU離脱問題や、株価、為替の影響の広がりを懸念している。
美容室（経営者）	・来客数の前年比が急激に落ち込んできている。さらに、これから為替関係の影響が色濃く出てくるのではないかと懸念している。
その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・今後の供給につながる受付が増えていない。
悪くなる	
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・前年の7月にプレミアム付商品券が発行されているため、今年の7～8月の売上は前年を上回ることが非常に難しい。かなりの苦戦を強いられるのではないかとみている。
スーパー（経営者）	・消費税増税の再延期、参議院選挙、英国のEU離脱問題が尾を引くのではないかと。客のマインドも冷え切っており、円高や株安などの影響も絡んでいるため、回復するには当分かかりそうである。
スーパー（店長）	・近隣に競合店がオープンしており、お盆商戦、秋彼岸など、大きな影響を受けるとみている。
乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱問題に対する政府の対応次第で、先行きは大きく変わるとみている。
乗用車販売店（経営者）	・英国のEU離脱に伴う円高株安の影響により、先行きは悪くなるとみている。

		住関連専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題が大きく報道されている。その影響はまだわからないが、当社の受注活動としてはあまり良くない環境になっていくのではないかと懸念している。また、受注残も乏しい状態である。		
企業動向 関連	良くなる	-	-		
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・8月から新事業を行うので、若干は忙しくなるとみている。		
(東北)	変わらない	農林水産業（従業者）	・早生種のももが例年よりも2日早く出荷されている。最盛期は8月上旬の見通しであり、旧盆前の収穫で販売単価の上昇が期待できる。		
		食料品製造業（経営者）	・為替や株式市場をみていると、先行きに不安感がある。		
		食料品製造業（営業担当）	・この先、景気が好転する要素が見当たらない。		
		木材木製品製造業（経営者）	・住宅部材の需給バランスが悪い状態が続いている。		
		電気機械器具製造業（営業担当）	・中小企業においては、小規模になればなるほど人材の確保が難しく、受注量を増やすことができていない。そのため、現状維持が精一杯となっている。		
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体業界の需給バランスが悪く、市場価格が上がる目途がたっていない。特にパソコン市場が停滞しており、モバイル市場頼みであるものの、飽和状態となっている。		
		建設業（経営者）	・受注している工事は小口であり、大口工事の受注は無い。景気は一進一退である。		
		建設業（従業者）	・復興関連の公共工事の出件、特に中間貯蔵関連で多数の工事出件が見込まれている。		
		建設業（企画担当）	・工事受注額は当初の見込み通りであり、年度内は現状のままで推移するとみている。		
		輸送業（経営者）	・当地区においても海外取引のある荷主が多くいるが、すぐには大きな変化はないとみている。		
		通信業（営業担当）	・予断を許さない状況であり、今後も継続して顧客に対するきめ細やかな働きかけを行っていく必要がある。		
		通信業（営業担当）	・政治の影響が景気回復に寄与するとは考えにくい。		
		金融業（営業担当）	・海外の不安定な状況の影響で、景気の停滞が続くとみている。		
		広告代理店（経営者）	・国内外の社会情勢にネガティブな変化が起きている。反面、オリンピックなどの好材料もあるため、2～3か月後の受注量は前年と変わらないと見込んでいる。		
				司法書士	・法務局における、不動産の登記申請件数は前年並みであり、大きな増減は見込めない。
				公認会計士	・建設業は当面、現状維持が続くとみている。また、小売業、サービス業も大きく業績が悪化するような要因は見当たらない。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・震災の影響は今でもあるが、それ以上に景気の停滞感が長引いていることが要因である。景気が良くなるような要素が無い場合、中小企業のなかでも小規模企業、零細企業にとっては大きな打撃となっている。このような状況がしばらく続くのではないかと懸念している。		
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響の波が押し寄せてくることを懸念している。情報が錯綜しており、素人では判断が付きにくい。		
	やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・ラニーニャ現象による猛暑が予想されている。そのため、米、その他の作物への高温障害の悪影響を懸念している。		
		食料品製造業（経営者）	・7月の参議院選挙が終わるまでは、旅行や出張などの人の動きや、贈答やお中元などの物流は動かないとみている。		
		食料品製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題に伴う景気の不透明感から急激な円高となっている。その影響を受けて、輸出企業を中心とした企業収益が悪化することを懸念している。		
		一般機械器具製造業（経営者）	・円高傾向の改善が進んでいない。また英国のEU離脱問題により為替、株価の状況が不安定であり、先行きが不透明である。		
		金融業（広報担当）	・英国のEU離脱問題による影響を懸念している。		
		広告業協会（役員）	・来月は駅前に大型商業施設がオープンするが、近隣商業施設のマスメディアによる対抗は無い模様である。むしろバーゲンシーズンであり、そちらのほうに力を入れている。そのため、7月中旬以降は引き合いも少なく、6月より悪化する可能性がある。		
		広告代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題により為替、株式の相場が不安定なため、広告費の抑え込みが増すのではないかと危惧している。		

		コピーサービス業（従業員）	・英国のEU離脱問題の影響がどのように表れるか予想がつかない。しばらくは様子見となるため景気が上向くとは考えにくい。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・英国のEU離脱問題に端を発した国内の為替市場、株式市場の乱高下によって、先行きに対する不透明さが増している。そのため、消費意欲は弱含みとなるのではないかとみている。
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	・円高の影響が表れるとみている。
		金属工業協同組合（職員）	・先行きへの不透明感が漂っており、依然として景気の足踏み状態が続いている。
	悪くなる	繊維工業（経営者）	・個人消費が低迷している。また、世界情勢も悪い状態である。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・英国のEU離脱問題による株価下落、さらに、英国に進出している日本企業への影響が大きいため、企業と消費者の心理が冷え込んで景気は悪くなるとみている。
		輸送業（従業員）	・英国のEU離脱問題の影響を懸念している。
		経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題がもたらす悪影響のインパクトが大きい。
雇用 関連  (東北)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・選挙関連の仕事のため、マスコミ2社から大口の注文を受けている。また、引当率が改善したことで、2～3か月先の景気はやや良くなる見込みである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・当地域だけみれば、駅前に大型商業施設がオープンしており、駅前の活性化と相まって七夕時期には景気が少し上向きになるとみている。ただし、政局の安定と国際政治の安定が前提であると言わざるを得ない。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・今年の大学4年生は、前年と比べても早い時期に内定が出ており、既に多くの学生が内定を獲得している。売り市場は今後も継続していくとみている。
		人材派遣会社（社員）	・人材確保で後れを取っている地元の中小企業においては、人材の観点からも大きな伸長が期待し難い状態である。
		人材派遣会社（社員）	・直近までは企業状況が良く、採用計画の増加などのアクションを取る企業が多かったため、今までどおりに採用が行われていく可能性はある。しかし、今後は英国のEU離脱問題の影響が日本にも波及してくることを考慮すると、2～3か月先の状況は不明瞭である。
		職業安定所（職員）	・特に景気を左右するような要因は見当たらない。
		職業安定所（職員）	・先行きに大きな変化はないとみている。
		職業安定所（職員）	・業種による人手不足、人手余りの状態は、今後もしばらくは継続する見込みである。また、求人においても、非正規求人が全体の約半数を占める状態が続くとみている。
		職業安定所（職員）	・事業所からは、新たな工場の建設や保育園などの施設を新設するという話が出ている。しかし、まだ先の話であり、それに伴う求人もまだないため、この2～3か月では大きな変化は見込めない。
		職業安定所（職員）	・求人の状態は小さな増減を繰り返しつつ、高止まり傾向にある。また、現在のところ企業の大規模な創業及び大規模な人員整理の情報はない。新規求職者数についても同様に小さな増減を繰り返しており、近い将来に景気が大きく動く印象はない。ただし、海外の諸事情を注視する必要がある。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は6か月連続で低下しているものの、前年よりは上回っているため、先行きが悪くなるとまではいえない。
		職業安定所（職員）	・前月同様に人手不足の業種はあるものの、円高や消費税増税の再延期などの影響を含めて先行きの不透明感が強く、現状維持とする企業が多く見受けられている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・各労働関係の法律変更に伴い、収益の減少が見込まれている。
		アウトソーシング企業（社員）	・民間も自治体も全体的に仕事量が減少している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・人手不足や円高のほか、復興需要の縮小などの懸念材料がある。
		民間職業紹介機関（職員）	・英国のEU離脱問題、参議院選挙、円高などにより先行きを見通すことが難しい。特に良い材料も見当たらない。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題に伴う円高により、採用にかかる費用が圧縮されることを危惧している。